

市議会だより



大室山

発行 伊東市議会 議長 西島 彰
編集 議会報編集委員会
伊東市議会事務局
電話32-1981(直通)FAX38-6916



伊豆半島ジオパーク

～伊東エリアには15のジオサイトがあります～ その6

小室山

表紙は「いとう」の文字に大室山・小室山を配し、図案化したものです。
つばきは伊東市の花木で、昭和42年8月10日、市制施行20周年を記念し、市民から公募して制定されました。

小室山

主な内容

- 3月定例会の概要……………【P.2】
- 予算大綱質疑（11議員が登壇）……【P.5】
- 一般質問（9議員が登壇）……………【P.7】
- 常任・特別委員会……………【P.12】

市議会会議録は、市役所、図書館、
各コミュニティセンターや、
ホームページでごらんいただけます。
（3月定例会会議録は、6月上旬
発行・公開の予定です）



平成26年3月定例会

平成26年度一般会計予算を賛成多数で可決！ 8 特別会計、2 企業会計についても可決



3月定例会を2月20日から3月20日までの29日間の会期で開会しました。

■市議会3月定例会で審議した議案等

議案番号	件 名	概 要	提出者	審議結果
市認第16号	平成25年度伊東市競輪事業特別会計補正予算（第3号）専決処分の報告承認について	ジャパンカップや記念競輪の売り上げが、当初見込み額を上回ったことなどにより、2月及び3月の開催経費に不足が見込まれることから、歳入歳出にそれぞれ18億4,876万1,000円を追加した専決処分を平成26年1月31日に行ったことの報告承認	市長	全会一致で承認
市議第55号	伊東市青少年問題協議会設置条例の一部を改正する条例	市長を青少年問題協議会の会長とする旨の規定を削除するとともに、委員の資格要件を定め、会長の選出方法等を規定することにあわせて、委員定数を改めるための条例改正	市長	全会一致で可決
市議第56号	伊東市コミュニティセンター条例の一部を改正する条例	東日本大震災後の電気料金の引き上げや、機器の保守・更新経費などに見合った適正な受益者負担の確保を目的として、冷暖房設備使用料を改めるための条例改正	市長	賛成多数で可決
市議第57号	伊東市手数料徴収条例の一部を改正する条例	消費税及び地方消費税の税率の引き上げ等に伴い、地方公共団体の手数料の額の標準について見直しが行われたことにより、消防法の規定に基づく設置許可申請手数料について、政令に沿って引き上げるための条例改正	市長	全会一致で可決
市議第58号	伊東市精神障害者医療費助成条例の一部を改正する条例	精神保健及び精神障害者福祉に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴い、条例中の医療費助成の対象を改めるとともに、字句の整理などを行うための条例改正	市長	全会一致で可決
市議第59号	伊東市介護老人保健施設条例の一部を改正する条例	消費税及び地方消費税の税率の引き上げに伴い、文書作成等手数料について消費税込み額から税抜きの基本額に改めるための条例改正	市長	全会一致で可決
市議第60号	伊東市学校給食共同調理場条例	2以上の義務教育諸学校の学校給食の実施に必要な施設である共同調理場について、市条例で定めるために制定	市長	全会一致で可決
市議第61号	静岡県伊東市社会教育委員条例の一部を改正する条例	社会教育委員の委嘱の基準について、政令で定める基準を参酌して、市条例で定めることとされたことによる条例改正	市長	全会一致で可決
市議第62号	伊東市生涯学習センター条例の一部を改正する条例	東日本大震災後の電気料金の引き上げや、機器の保守・更新経費などに見合った適正な受益者負担の確保を目的として、冷暖房に係る使用料について改めるための条例改正	市長	賛成多数で可決
市議第63号	伊東市民体育センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	施設の維持管理経費（指定管理委託料等）や、適正な受益者負担の確保を目的として、条例別表に定める使用料等について改めるための条例改正	市長	賛成多数で可決
市議第64号	伊東市消防長及び消防署長の資格を定める条例	消防長及び消防署長の任命資格について、政令で定める基準を参酌して、市条例で定めることとされたことによる制定	市長	全会一致で可決
市議第65号	伊東市消防団条例の一部を改正する条例	消防団員の処遇の改善について、必要な措置を講じることが求められたことから、副分団長以下の報酬を、普通交付税の算定の基礎である報酬単価に引き上げるための条例改正	市長	全会一致で可決
市議第66号	平成25年度伊東市水道事業会計資本剰余金の処分について	地方公営企業法の規定に基づく資本剰余金の処分の議決	市長	全会一致で可決
市議第67号	平成25年度伊東市一般会計補正予算（第4号）	各種事務事業経費の整理、国の補正予算の補助制度を活用し、平成26年度当初予算に計上予定であった大型事業を、本補正予算に前倒して計上したこと、平成26年度当初にかけて切れ目のない経済対策事業を実施するための経費の追加など、16億354万5,000円の追加	市長	全会一致で可決
市議第68号	平成25年度伊東市下水道事業特別会計補正予算（第2号）	歳出では国庫支出金の減額に伴って、補助事業等を縮小したことによる管きょポンプ場改築事業や建設事業等の減額など、歳入では国庫支出金や市債の減額など、5,882万9,000円の減額	市長	全会一致で可決

市 議 会 だ よ り

議案番号	件 名	概 要	提出者	審議結果
市議第69号	平成25年度伊東市国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	歳出では一般被保険者療養給付費や一般被保険者高額療養費を増額するとともに、退職被保険者等療養給付費や特定健康診査等事業費等の減額整理など、歳入では療養給付費に係る国庫支出金や保険給付等支払準備基金繰入金の追加など、2,167万2,000円の追加	市長	全会一致で可決
市議第70号	平成25年度伊東市土地取得特別会計補正予算（第1号）	保代口宅地分譲地について4区画の売却が見込めることとなったため、歳出では所定の媒介手数料とともに、土地開発基金に積み立てるための繰出金の計上、歳入では土地売却収入の計上など、3,481万4,000円の追加	市長	全会一致で可決
市議第71号	平成25年度伊東市霊園事業特別会計補正予算（第3号）	歳出では天城霊園整備基金への積立金の計上、歳入では平成25年11月に抽選を実施した3区画に係る墓所使用料の計上、129万円の追加	市長	全会一致で可決
市議第72号	平成25年度伊東市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	歳出では介護報酬改定等に伴う介護保険システム改修経費の計上など、歳入ではシステム改修に対する国庫補助金の計上など、112万7,000円の追加	市長	全会一致で可決
市議第73号	平成25年度伊東市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	歳出では広域連合に納付する保険料負担金や保険基盤安定負担金の減額など、歳入では保険基盤安定に係る一般会計繰入金金の減額など、1,494万3,000円の減額	市長	全会一致で可決
市議第74号	平成25年度伊東市病院事業会計補正予算（第2号）	収益的支出の4,421万2,000円の増額	市長	全会一致で可決
市議第75号	平成25年度伊東市水道事業会計補正予算（第2号）	収益的収入は4万5,000円の増額、収益的支出は1,242万7,000円の減額、資本的収入は134万3,000円の増額、資本的支出は3,975万円の減額	市長	全会一致で可決
市議第76号 と 市議第86号 市議第87号	平成26年度伊東市一般会計予算、以下、8特別会計と2企業会計	※予算の概要については、下表をご覧ください。	市長	下表を ご覧ください。
市議第87号	平成25年度伊東市国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）	歳出では一般被保険者療養給付費や一般被保険者高額療養費を増額するとともに、歳入では支出補正額に対応する国庫支出金や保険給付等支払準備基金繰入金の追加など、1億5,000万円の追加	市長	全会一致で可決
発議第12号	伊東市議会議員の議員報酬等の特例に関する条例	議員が市議会の会議等を長期間欠席した場合における議員報酬及び期末手当の支給に関し、特例を定めるために制定	議員 7名	全会一致で可決
陳情第6号	按針祭のパレードにおける帆船の引き手の一般公募を求める陳情	陳情者：天野政司氏 委員会不採択理由：按針祭のパレードは現在行われておらず、かつ、今後復活の予定のない現状に鑑み、パレード実施を前提にした本陳情は不採択	不採択とすべしとした委員会報告のとおり全会一致で不採択	

■平成26年度各会計予算				
◎=全会一致で可決、○=賛成多数で可決（単位：千円）				
会計別	区 分	当初予算額	前年度対 比	審議結果
一 般 会 計		23,660,000	98.4%	○
特 別 会 計	下 水 道 事 業	2,102,000	107.9	◎
	競 輪 事 業	16,989,000	%	◎
	国民健康保険事業	10,943,000	128.2	◎
	土 地 取 得	230	%	◎
	霊 園 事 業	96,700	100.1	◎
	介 護 保 険 事 業	6,494,800	%	◎
	介護老人保健施設	85,700	100.0	◎
	後期高齢者医療	1,613,000	%	◎
病 院 事 業 会 計		542,872	193.8	◎
水 道 事 業 会 計		2,828,311	%	◎
合 計		65,355,613	106.3	—

※病院事業会計及び水道事業会計については、収益的支出と資本的支出の合計額

■主な新規事業（全体では77の新規事業があります。） （千円）
○未来づくり研修事業 …………… 300
○ANJINサミット開催事業 …………… 1,200
○市民活動支援事業 …………… 2,000
○新保健福祉施設測量調査等委託事業 …………… 2,000
○つくし保育園施設整備費補助事業 …………… 86,016
○新車庫建設用地造成事業 …………… 20,000
○十足ため池堤体整備事業 …………… 15,000
○花でおもてなし事業 …………… 3,000
○観光トイレユニバーサルデザイン整備事業 …………… 50,000
○奥野ジオサイト整備事業 …………… 30,000
○市民提案アイデア実践事業 …………… 3,000
○伊東温泉オールシーズンプロモーション事業 …………… 6,000
○市街地ライトアップ事業 …………… 6,000
○起業支援及び空き店舗対策補助事業 …………… 5,000
○大規模建築物耐震性向上補助事業 …………… 50,000
○緊急消防援助隊活動拠点ヘリポート整備事業 …………… 30,000
○同報無線デジタル化整備事業 …………… 27,000
○宇佐美小学校共同調理場給食調理運搬洗浄事業 …………… 27,500
○学校給食センター建設事業 …………… 27,351
○霊園建設事業 …………… 35,050

本会議で 行った討論 (概要)

■伊東市コミュニティセンター条例の一部を改正する条例

■伊東市生涯学習センター条例の一部を改正する条例

《反対》重岡秀子議員

右記二件の条例改正案については、冷暖房使用料の値上げに関するものであるが、今回の値上げ幅は余りにも大きく、さまざまな市民活動の継続にも影響を及ぼしかねない。

さらに、機器の保守や入れかえに係る費用の一部まで、利用者の負担とする考えは、市民の文化力を高めるべき行政の姿勢としては適切ではなく、市民の理解は得られないものと考え、反対する。

■伊東市民体育センターの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例

《反対》杉本一彦議員

施設の充実を図る上で、適正な受益者負担を求める

とする考え方に異を唱えるつもりはないものの、本改正案では、いちどきに五〇%以上の値上げ幅が示されており、市民生活等にも配慮した段階的な値上げという方法もあったのではないかと考える。

さらに、市長が施政方針演説においてスポーツ振興を掲げたばかりのこの時期における値上げ案には賛成できず、反対する。

《反対》重岡秀子議員

市民体育センターの利用料については他市の施設と比べても安く、値上げ後もなお安い料金であることは理解するが、これまで据え置いた使用料を消費税増税となるこの時期に改定することに疑問である。

さらに、市民との協働の推進という観点からも、行政の姿勢として、市民に負担となる料金改定は、利用団体と話し合い、値上げによる影響についても考慮すべきとして、反対する。



平成26年度一般会計予算案起立採決

■平成二六年度伊東市一般会計予算

《反対》森篤議員

市長経営方針「未来協知の実践」は、その言葉が政治論的、政策論的に説明されていない。また、平成二六年度予算における主な事業と関連づけられていない。さらには、「未来協知」の言葉を市長任期の間使うと言うが、その行程及びその到達点の姿が明らかになっていない。以上のことから、自治体の経営方針として成り立たないと判断し、この経営方針に基づき編成された予算に反対する。

《賛成》公明党

自主財源の確保が困難な状況の中、人件費の適正化

や事務事業の整理合理化など、行財政改革の取り組みが顕著である上、市民福祉充実に向けた新規戦略事業や重点事業に財源を振り分けられているなど、予算編成を総合的に検証した結果、官民協働を初め、市民福祉向上への取り組みに前進が見られることは高く評価する。いかなる環境変化にも耐え得る強固な財政基盤の確立を求めつつ、賛成する。

《賛成》重岡秀子議員

県内の多くの市町が公の施設の使用料やその他手数料に消費税の転嫁を決める中、本市は転嫁を見送ったこと、また、中学校四校の給食実現に向けた具体的な予算の計上、特別支援教育支援員等の七人増員などは評価するところである。

観光やまちづくりに関し、長期的なビジョンを持つことや、市民との協働にはまだ多くの課題があるものの、今後の意識改革、行政改革に期待し、賛成する。

《賛成》正風改革クラブ

財政基盤の安定性と行政

活動の自立性が低下する中、「未来協知の実践」を掲げ、行財政改革の取り組みを継続し、市民生活の一層の向上を図られる姿勢や、現場主義の視点で市民の行政ニーズを的確に捉え、着実に実績と成果を上げている点については高く評価する。

五年、十年先の財政状況を見据え、市民生活や福祉の向上、観光を初めとする産業振興をさらに図られることを要望し、賛成する。

《賛成》民主党・刷新の会
中学校給食実現に向けた市長の英断には敬意を表するものの、職員研修における民間との交流、かがやくまちづくり事業に係る補助基準、交通事業におけるデマンドタクシーのあり方等について、「未来協知」の視点に立ち、柔軟な対応を求めるとともに、ペットボトル分別収集、有害鳥獣対策、按針サミット関連事業、住宅リフォーム振興事業等について、より効果的な執行を期待し、賛成する。

予算大綱質疑

全会派及び会派に所属していない議員から11議員が質疑(質疑順に掲載)

※市長施政方針及び平成26年度予算の概要につきましては、広報いとう4月号をごらんください。

◎=会派代表者、会派構成議員は議席順。質疑した議員は、太字・網かけ

■正風改革クラブ

・浜田修一郎議員・榎本元彦議員
・佐山 正議員・井戸清司議員
・佐々木 清議員・西島 彰議員
◎宮崎雅薫議員・土屋 進議員

歳入の根幹である市税の予算編成に当たり、市内経済をどのように把握し、積算したか伺う

市内の経済状況は、景気の回復がいまだ実感できず、宿泊客数や来遊客数は停滞傾向にある。

建設業においては、新年度以降の建築確認申請の見込みなどから厳しい状況であり、小売業も依然として続く売上単価の減少や大型店との競合による客数の減少などで厳しい状況にある。また、給与所得者においても給与額の増加を望めない状態が続いている。

市内経済が上向かなければ、市税収入に影響を及ぼすと推察するが、現状をどのように把握し、見積もったか伺う。

景気が上向いていくことは、期待できると思っており、〇・四％増の計上とした

市長

市内経済の状況については、まだ厳しい環境の中にあると認識しているが、今後、景気が上向いていくことは、期待ができると思っている。このため、平成二六年度予算の市税は、前年度に対し、率にして〇・四％、金額では四〇九七万六〇〇〇円増の計上とした。

個人市民税は、均等割の税率引き上げや個人所得の減少に歯どめがかかることを見込んだことから、対前年度比一・七％の増額で見積もり、法人市民税は、企業収益を反映した法人税割に減少傾向が見られることから、対前年度比〇・九％の減額で見積もっている。

また、入湯税については、景気が回復基調にあり入湯客の増加を見込んだことから、対前年度比九・三％の増額で見積もっている。

『その他の質疑』四〇項目

※ 現年課税分比

■民主党・刷新の会

・四宮和彦議員◎鈴木克政議員
・浅田良弘議員

子ども・子育て支援事業計画の策定に係るスケジュール及びニーズ調査について

平成二七年度からの子ども・子育て支援新制度の実施に向け、平成二六年度には、増加する保育需要に対応すべく、保育緊急確保事業が実施される予定である。本市も国の動向を注視し、本制度における自治体の役割を把握する中で、保護者の意見を反映し、準備を円滑に実施すべきと考える。

このような観点から、本市の子ども・子育て支援事業計画(五年計画)の策定に向けたスケジュール及び対象となる世帯へのニーズ調査について伺う。

平成二五年度中にニーズ調査の結果を取りまとめ、計画の最終案を平成二六年一二月ごろまでに決定する

市長

子ども・子育て支援新制度の施行に伴い、ニーズ調査の結果をもとに、子ども子育て会議の意見を踏まえた支援事業計画の策定が義務づけられていることから、平成二六年一〇月ごろまでに中間案を検討し、その後パブリックコメントを実施し最終案を一二月ごろまでに決定したいと考えている。

また、現在実施しているニーズ調査については、就学前の子供及び放課後児童クラブに通う子供を持つ保護者を対象とし、三月初旬に回収を終え、平成二五年度末までに結果を取りまとめる予定である。

『その他の質疑』九項目



富士見保育園
(お別れ会の様子)

■輝21

・稲葉正仁議員・稲葉富士憲議員
◎三枝誠次議員

起業支援及び空き店舗対策
補助事業について伺う

当該事業の実施に当たっては、過去に行った空き店舗対策事業における検証及び反省を踏まえた上で検討すべきとする観点から、以下三点について伺う。

一 補助事業対象者（以下、「対象者」という。）の選定方法について

二 選定した対象者の育成体制について

三 過去に行った空き店舗対策事業の経験をどのように生かしているか。

商店街における日中のにぎわいづくりにつなぐと考えている

市長

一 事業計画書及び資金計画書等の審査を行うとともに、商工会議所の経営指導員及び空き店舗利用

商店街の代表との情報の共有や、意見交換を通して、必要に応じ、指導、助言を行い、選定している。

二 対象者には、当分の間、四力月ごとに事業報告を求め、商工会議所の経営指導員の協力のもと、経営状況の把握、問題点の抽出を行い、必要に応じ、改善策の検討及び指導等を実施する予定である。

三 旧制度は、商店街を事業主体としていたが、今回は、事業者への補助事業である。

当該事業は、伊東市商店街連盟に加入している商店街の空き店舗を利用する場合、家賃補助やリフォーム工事、什器の購入及び広告宣伝に係る事業費を合わせて助成できる事業であり、旧制度よりも間口を広げ、各種支援を行うことにより、さらなる商店街における日中のにぎわいづくりにつなぐと考えている。

『その他の質疑』 九項目

■公明党

・鳥居康子議員・長沢 正議員
◎楠田一男議員

子育て支援の取り組みに関し、いじめ対策や不登校対策などをどのように予算に反映したか

少子化社会、人口減少社会の中で、「子供の幸せ」や「子育ての安心」が確保される社会を構築していくことが大切であることは言うまでもない。

また、女性の社会進出などによる雇用環境の変化の中で、チャイルドファースト（子供優先）の社会を目指して、保育を初めとする子育ての環境をどのように整備し、安心で質の高い教育を推進していくかなど、総合的な対策に取り組む必要がある。

本市における子育て支援体制強化の観点から、いじめ対策や不登校対策などどのように予算に反映したか伺う。

有資格者の派遣や支援員を増員することで、組織的な支援体制等を構築し、いじめや不登校対策を進める

教育長

来年度、新たに「いじめ・不登校未然防止対策事業」として、社会福祉士や学校心理士等の有資格者を、各学校のいじめや不登校解消のためのケース会議に派遣し、専門的な観点から児童・生徒や保護者にかかわるなど、問題解消を図るための組織的な体制づくりを進めていく。

また、特別支援教育、小学校低学年、多人数学級等の支援員を一人から二人に増員することとしており、このことにより、児童・生徒へのきめ細かな指導や支援体制を構築し、どの子にとっても楽しい生活が送れる学校づくりを推進するとともに、問題が起きにくい学校にすることもいじめや不登校対策に通じるものと考えている。

『その他の質疑』 一九項目

■伊東元気の会

・横沢 勇議員◎杉本一彦議員

協働に係る考え方、協働による市政運営に向けた将来的な構想について伺う

今後の市政運営における協働で行う事業について、行政、地域、市民団体が、どのような体制を築き、また、連携していくのかなど、本市の実情に合った協働体制を構築していくため、行政と市民が、協働に係る考えなどを、ともに共有しておく必要があると思う。

そこで、協働に係る市長の考え方と、現段階において、協働による市政運営に係る将来的な構想はあるか伺う。市政運営には不可欠であり、第四次伊東市総合計画により参画と協働を定めている

市長

行政だけ、あるいは、地域の市民だけでは解決できない地域の課題等に対し、お互いの不足する部分を補



市民活動団体交流会

い、協働することです。市民サービスや行政上の効率性が向上することから、協働は、市政運営には不可欠であると考えている。

将来的な構想としては、第四次伊東市総合計画のまちづくりの基本理念に、「市民と行政が情報を共有し、同じ目標に向かって新たな価値を生み出すまちづくりを尊重します。」と、「参画と協働」を定めており、また、基本計画の「構想の推進」の中で「市民参画によるまちづくり」の目標を「市民と行政が一体となり自立した地域をはぐくむまちを目指します。」と掲げている。

『その他の質疑』 六項目

重岡秀子議員

(会派に所属していない)

市民の約四割が加入している国民健康保険に関し、保険税の納付が困難な方等に対する納税相談や減免制度などの対策について伺う

市長

軽減措置及び減免措置を講じるとともに、夜間・休日における納税相談の実施や、新たな滞納により、短期被保険者証の交付対象となった方には、被保険者証交付時に収納課において納税相談を実施するなど、早期の対応に努めている。

『その他の質疑』 四項目

森鷲議員

(会派に所属していない)

平成二六年度の予算編成作業に当たり、市長経営方針である「『未来協知』の実践」として、どのように市民の皆さんと協働し、知恵を出し合ったのか

市長

予算編成に当たっては、

「『未来協知』の実践」に基づいた各種施策の展開を念頭に置きつつ、市民の皆様との協働や市民の皆様の見解を聞く機会について検討した上で要求するよう、各課に指示したものである。

『その他の質疑』 五項目

ことばの解説

(予算・決算大綱質疑)

新年度予算説明、決算概要説明及び予算、決算に係る議案に対する質疑とし、三月及び九月定例会において行うもので、質疑時間は、議員一人につき二〇分の持ち時間を基本として、議会運営委員会において決定します。

正風改革クラブ 一六〇分
公明党 六〇分
民主党・刷新の会 六〇分
輝21 六〇分
伊東元気の会 四五分
会派に所属していない議員 二五分
(平成二六年三月定例会から本格実施)

一般質問

9 議員が登壇/市政全般等について質問

(登壇順に掲載)

津波避難協力ビルの指定の進捗状況及び児童・生徒への周知等について伺う



正風改革クラブ
土屋 進 議員

平成二四年三月の時点において、津波避難協力ビルは、市街地に二四カ所、宇佐美地区に四カ所が指定されていたが、その後の進捗状況を伺う。

あわせて、学校では、子供たちに通学路周辺の津波避難協力ビルをどのように周知し、また、どのような訓練に取り組んでいるのか伺う。

地域と連携しつつ指定施設をふやしていくとともに、児童・生徒へは、一層の周知を図っていく

市長・教育長

津波避難協力ビルは、現在、市街地に二五カ所、宇佐美地区に四カ所の計二九

施設を指定しているが、引き続き、地域と連携しながら指定施設をふやしていきたい。

また、学校における津波避難協力ビルの周知については、避難協力ビルへの避難も一つの方法であると指導しており、今後一層の周知を図っていく。

訓練については、登下校時に関しては特に実施していないが、高台への避難を原則に、あらかじめ家庭で確認したり、学校で作成している防災カードに避難場所を記入することで、有事の際の行動について確認するなど、家庭との連携を図りながら指導している。

『その他の質問』 六項目



津波避難協力ビル表示

児童・生徒のインターネット依存状況と対策について



公明党
長沢 正 議員

厚生労働省の調査では、中学生・高校生の8%がインターネット依存の疑いが強いとされている。

インターネット依存の問題点は、昼夜逆転などによる不登校、成績低下、引きこもりだけではなく、食事・睡眠・運動不足等のため、睡眠障害や鬱症状など、精神面でのトラブルのほか、視力や筋力の低下、骨粗しょう症などの身体機能の悪化を招いていることにあると言われている。

インターネット依存は、青少年の健全な育成の妨げとも考えられ、適切な対策が必要であるが、現状把握とその対策について伺う。

トラブル等の報告が増加しつつあり、学校における指導や保護者への啓発、職員研修等を実施している

教育長

インターネットに没頭することで長時間を費やし、心身ともに健康の保持ができず、学校生活に悪影響を及ぼし、危惧される状況は以前から報告されている。

最近では、スマートフォン等を介した、児童・生徒間のトラブル等の報告が確実に増加しつつあり、どのように防止するかは大きな課題となっているため、学級活動での指導や保護者への啓発活動、さらにはネット関連の職員研修等を実施しているところである。

『その他の質問』 三項目



各種モバイル機器

バス事業の諸問題に対する現状認識に基づいた現在の対応策について、また、今後の具体策について伺う



民主党・刷新の会
四宮 和彦 議員

国において、交通政策基本法が成立し、公共交通の存在意義が確認される中、地方は、地域公共交通会議をより実効性のあるものにするべく、組織体制を見直し、制度を積極的に活用する等、迅速に行動すべきである。

そこで、先の定例会において、市長は、自家用車の普及による利用者減のためバス路線の便数削減等が続いた結果、利便性が低下し、さらなる利用者減を招く悪循環に陥っている旨の答弁をされたが、その現状認識に対し、今、どのように対応し、今後、どのような具体策を講じていくのか伺う。

バス路線の維持を図り、今後もバスの利用を促進しつつ、他の公共交通手段の検討を始めている

市長

バス事業は重要な公共交通機関との認識のもと、通勤、通学、買い物等、市民の日常生活を支える足を確保するために、バス事業者に補助金を支出し、生活路線バスの運行を行っている。

今後、地域の交通手段としてのバス路線維持を図るため、バス事業者とも協力しながら、バス利用の促進に取り組みつつ、極端にバス利用者が少ない路線はバス以外の公共交通手段の検討も始めている。

『その他の質問』 八項目



伊東駅前のバス発車場

市民の信頼に応えるための職員の資質向上に係る取り組みについて



正風改革クラブ
榎本元彦 議員

本市を取り巻く社会環境は、厳しい経済・雇用状況に加え、少子高齢化の進展などの課題が山積している。

これら諸課題を解決し、市民のためのまちづくりを推進すべく、職員に高い能力が求められていることから、職員の人材育成や資質向上の取り組みが必要不可欠である。

私は、伊東を愛し、市民に信頼され、みずから考え行動する職員こそがこれからの伊東市に求められる職員であると思う。

そのためには、職員への啓発が重要ではないかと考え、伊東市公共経営改革に掲げる「生産する職員」の育成に向けて、市としてど

のように取り組んでいるか何う。

職員の意識改革と資質の向上を図り「生産する職員」の育成に努めていく

市長

市民と直接、接する中で課題を解決し、付加価値を提案、提供することができ「生産する職員」の育成に向け、平成二五年二月に伊東市人材育成・活用基本指針を策定した。

この指針に基づき、未来協知を実践するための各種研修を計画的に実施し、職員の意識改革と資質の向上を図ることで「生産する職員」の育成に努めていく。

『その他の質問』 六項目

伊東市人材育成・活用基本指針



産廃の不法投棄に対する関係機関の連携を問う



輝21
稲葉富士憲 議員

八幡野の山中に、推定四〇〇〇mもの産業廃棄物が放置されている問題に関し、自身の通報から一年以上を経てようやく搬入が停止したが、地元では、八幡野川への廃棄物の流入や汚染を防ぐため、撤去や危険性の排除に向け、奔走している。

当件においては、産業廃棄物の不法投棄を防止し、排除すべき組織の網をすり抜けてしまった感がある。

市民の安全・安心の確保という観点から、今後二度とこのような事態が起こらないよう警鐘を鳴らしたいと考え、市、県、警察等の関係機関の連携を問う。

情報を共有し、調査等への協力や連絡調整に努める

市長

県及び警察との連携については、情報を共有することを基本とし、県や警察が行う調査等に協力している。

具体的には、産業廃棄物の排出事業者や投棄者の調査への協力、廃棄物の撤去指導への協力、追加搬入をされないための監視などの協力を行っているほか、県や警察等の相互の連携が円滑に行われるよう連絡調整に努めている。

また、警察との連携については、静岡県東部健康福祉センター廃棄物課及び県庁廃棄物リサイクル課内に配置されている警察官を通じて、連携が図られている。

『その他の質問』 五項目



放置されている産業廃棄物（八幡野）

という創造大賞「できたらいね」夢部門において最優秀賞に輝いた「伊東市健康保養地・癒しの郷一碧湖畔」の実現について



正風改革クラブ
佐山 正 議員

「できたらいね」夢部門において最優秀賞に輝いた「伊東市健康保養地・癒しの郷一碧湖畔」については、第二次観光基本計画の内容にも合致していることから、高く評価するものである。

また、第二次観光基本計画よりも具体性が高く、実現可能であると考えることから、官民一体となつて本提案を実現すべきであると考えるが、いかがか。

今後、実現の可能性について、提案者や地域の方々と意見交換を行う予定である

市長

という創造大賞の「でき



伊豆の瞳 一碧湖

『その他の質問』 六項目
 たらいいね」夢部門は、すぐに実現することが難しく、財政的に大きな負担を伴うもの、実現に向け法改正や制度改正が必要なものとしているが、提案の実施の可能性や効果等を検討し、可能な場合は、市民、地域等との協働により事業を展開していきたいと考えている。
 今回の「できたらいね」夢部門の最優秀賞「伊東市健康保養地・癒しの郷一碧湖畔」については、一碧湖の自然や民間施設などの活用が提案されていることから、今後、実現の可能性について提案者や地域の方々と意見交換を行っていききたいと考えている。



伊東元気の会
杉本一彦 議員

空き家及び廃屋に関し、現在、どのような対策を講じ、また、今後、どのような問題解決策を考えているか

管理不十分な空き家は、不審者や放火など、防犯上の問題も懸念されている。また、放置され、荒れ果てた廃屋は、景観を阻害するだけでなく、倒壊や火災、犯罪が誘発される等の危険性があり、住民や観光客は不安や不快を感じている。
 さらに、南海トラフ巨大地震や地球温暖化による集中豪雨など自然災害にも直面しており、廃屋や空き家に対する近隣住民の不安は増大するばかりである。
 本市の魅力ある景観を損なわぬよう、市民の安全・安心のため、空き屋及び廃屋の問題解決に向け、対策を講じるべきである。



放置された廃屋

『その他の質問』 五項目
 そこで、現在、どのような空き屋及び廃屋対策を講じているか、また、今後問題解決に向けどのような方策を考えているか伺う。
 独自の補助制度を実施しており、今後も、周知に努め、状況の改善を求めていく
 市長
 本市独自の取り組みとして、廃屋の解体撤去に対し、三〇万円を上限に費用の一部を補助しており、本年度もこの制度を利用し、既に五件の廃屋が除却された。
 今後、補助制度のPRに努めつつ、廃屋所有者にも状況の改善を求めていきたい。



重岡 秀子 議員
(会派に所属していない)

二月の二度にわたる降雪による市民生活への影響及び雪対策に係る課題について

二月に二週連続で降った雪は、温暖で雪への備えが弱い本市に、さまざまな生活上の問題を引き起こした。一部の地域では、タクシーやバスなどの交通機関も麻痺する事態が生じ、数日間にわたり、買い物や通院にも困難な状況が続いた。
 そこで、このような状況をどのように把握しているか、また、市民生活への影響を最小限に抑えるため、詳しい交通情報の提供や地域の自治会、町内会における活動のあり方なども含め、本市の課題について伺う。
 速やかな情報発信とともに自主防災会などの協力の必要性を啓発していきたい



一碧湖・大室線の除雪
(平成26年2月)

市長
 二月の週末二回にわたり、本市にも大雪警報が発令され、山間部などに三〇cm以上の積雪があり、多くの市民の生活に支障を来した。
 また、人的被害はなかったものの、物的被害として、建物の一部損壊が一件、雪による帰宅困難等の支援要請が二件発生している。
 このことから、市内の状況や交通情報などの収集や情報発信が重要であると考えており、関係団体と連携し、適切な対応を図る中で、市民からの情報収集や速やかな情報発信とともに、自主防災会などの協力の必要性を啓発していきたい。
 『その他の質問』 四項目

教育委員会が形骸化しているとの一般的な批判について、本市に即してどのように考えているか伺う



森 篤 議員
(会派に所属していない)

現在、政府においては、教育委員会制度を変更すべく、法律改正を行う動きがあるとの報道がある。

これは、教育委員で構成される教育委員会に係る制度的な疲労や同教育委員会が行う活動が形骸化しているとの批判に端を発していると言われている。

教育委員会に対する一般的な批判について、本市の教育委員会は、そのあり方とりわけ形骸化していると考えられることについて、本市に即して、どのように考えているか伺う。

本市の教育委員会は形骸化しているとは考えていない

教育長

現行制度について、改革の方向性が示されていることは承知している。

本市の教育委員会においては、教育の執行機関としての役割を果たすため、教育に関する全般的な事務や社会教育、社会体育、芸術文化に関する事務の管理、執行等の報告を受け、本市の実情に即した教育行政を推進するとともに、予算や議案の提出権を持つ市長との懇談も多く行うなど、地域の教育のあるべき姿を共有し、それぞれの役割と責任を果たしており、形骸化しているとは考えていないところである。

『その他の質問』 二項目

毎年発行される
「伊東市の教育」



市議会では、市民の皆様にも市議会の情報をお届けするため、ホームページを開設しています。
主な内容は次のとおりとなっていますので、ぜひご覧ください。

- ◎正副議長のごあいさつ
- ◎市議会の仕組み
- ◎市議会の構成
- ◎議員名簿
- ◎歴代議長・副議長一覧
- ◎委員会委員一覧
- ◎市政の概要（全編版・抜粋版）
- ◎定例会・臨時会
- ◎議会閉会中の活動状況
- ◎議長・副議長日程表
- ◎行政視察
- ◎いとう市議会だより
- ◎市議会の傍聴を！
- ◎請願・陳情、決議・意見書とは？
- ◎市議会図書室のご利用案内
- ◎市議会の情報公開請求
- ◎伊東市議会会議録検索システム

伊東市議会 ホームページのご案内



伊東市議会

検索

閉会中の 議会活動

平成25・26年

※平成25年12月定例会閉会后、平成26年3月定例会開会まで

- 12月20日 議会改革特別委員会
- 1月 8日 議会報編集委員会
- 14日 常任福祉文教委員会協議会
- 31日 議会改革特別委員会
- 2月 4日 常任総務委員会協議会
- 10日 常任観光建設委員会協議会
- 14日 議会運営委員会

常任委員会だより

～常任委員会審査の中から～

◆詳細は、六月上旬発行予定の三月定例会会議録の委員会審査報告をご覧ください。

総務委員会

問

ペットボトルのごみステーション収集について伺う。

答

早ければ、七月からモデル地区で試行実施し、来年四月から市の収集域全域で実施していきたい。



環境美化センター
リサイクル棟
(ペットボトル圧縮処理)

問

同報無線デジタル化整備事業の見通しを伺う。

答

今年度中に親機をアナログとの併用が可能な機器に更新し、五年の計画期間の中で、受信側もできるだけ早く全て整備していきたい。

観光建設委員会

問

磯あそび体験事業の内容を問う。

答

有料で貝等採取できる場を提供し、漁業への理解及び海でのマナー・ルールを再認識していただくための体験事業である。

問

市街地ライトアップ事業の実施予定箇所を問う。

答

まずは、松川河口周辺の実施を考えている。



松川河口周辺

福祉文教委員会

問

災害時要援護者避難支援台帳の整備状況を問う。

答

七〇〇〇人余が登録し、今後も登録を促していく。

問

中学校教育における部活動の位置づけを問う。

答

人間形成過程において非常に重要であるとの認識のもと、ニーズを満たす部の維持に努め、指定校変更制度を活用し充実した生活が送れるよう検討していく。



部活動の様子（南中学校）

特別委員会

中間報告



議会改革特別委員会

二月二〇日、一月三十一日、委員会を開催した。

長期にわたり会議等を欠席している議員への対応について協議を行った。

本議題については、全委員によるワーキンググループにより四回にわたって協議・調整を進めてきたものであるが、市議会の会議等（本会議及び委員会）の欠席期間に応じて議員報酬及び期末手当を左記のとおり減額する旨の条例を制定するとして全委員の合意に至った。

- ・九〇日超 三〇％
- ・一八〇日超 五〇％
- ・三六五日超 一〇〇％

なお、委員長において、賛同議員により本条例案を、三月定例会に提出する旨を諮り、異議なく了承された。

編集後記

この冬、東京都心で二〇年ぶりに二〇cm越えの積雪を記録した大雪は、本市の市民生活等にもさまざまな影響をもたらしたこともあり、今定例会において、雪対策に関する質疑・質問が散見されました。
自然に畏敬の念を表しつつ、春の恵みのありがたさをしばらく堪能したいと思えます。
(委員長)

議会報編集委員会

- 委員長 稲葉富士憲
- 副委員長 長 沢 正
- 委員 浜田修一郎
- ” 四宮和彦
- ” 杉本一彦

市議会に関するご意見

ご質問は議会事務局へ
伊東市大原二丁目一番一号
TEL (三三) 一九八一
FAX (三八) 六九一六
次期六月定例会は六月一三日開会の予定です。